

1 調査概要

- (1) 調査目的 中小企業(受注企業)の実態・課題等を把握し、取引あっせん事業を効率的かつ効果的に行うため
- (2) 調査対象企業 取引あっせん(受注)を希望し、当センターに登録している県内企業3,300社
- (3) 調査期間 平成19年6月26日(火)～7月26日(木)
- (4) 調査方法 別添調査票送付によるアンケート
- (5) 調査票の回収状況

調査対象企業	回答企業数	回収率
3,300	868	26.3%

(6) 総評

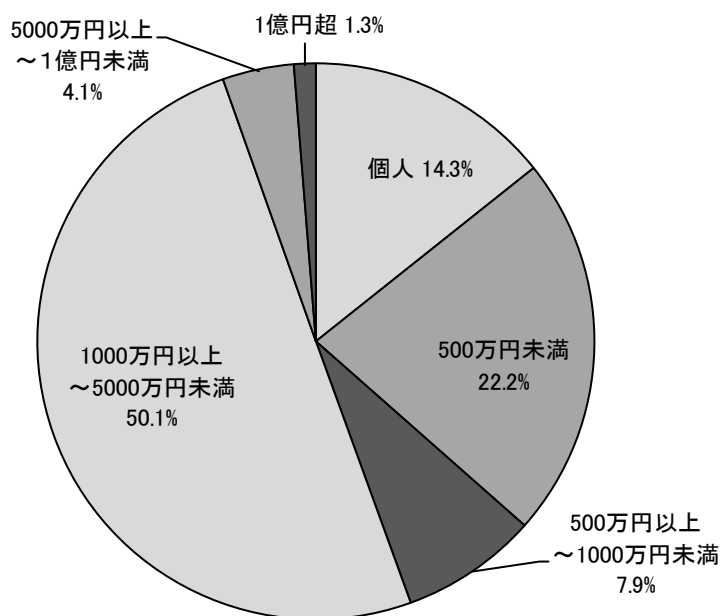
この調査は、当センター事業振興部取引振興課に登録している県内受注企業の景気動向を継続的に把握し、受発注企業の取引あっせん業務を効率的かつ効果的に展開にいくため、年1回行っているものです。

今年度の調査結果を昨年と比較すると、「受注単価が下がった企業」が143%と増えており、受注余力率も「20%以上30%未満ある企業」が146%と増えています。受注量も低下している企業が159%と増えています。中小企業において前年は景気回復の兆しを感じられましたが、本年は、一転して厳しい経営状況に転じていることが伺われます。

2 回答企業の概要

(1) 資本金規模別

資本金規模別で見ると、「1000万円以上5000万円未満」が過半数以上の50.1%と最も多くなっている。

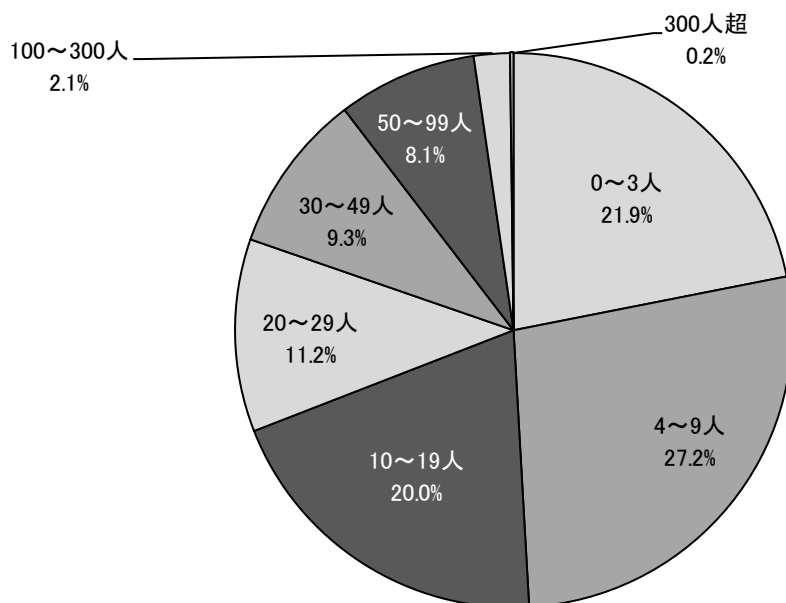


資本金規模集計表

	個人	500万円未満	500万円以上 ～ 1000万円未満	1000万円以上 ～ 5000万円未満	5000万円以上 ～ 1億円未満	1億円超	合計
%	14.3%	22.2%	7.9%	50.1%	4.1%	1.3%	100.0%
企業数(社)	124	193	69	435	36	11	868

(2) 従業者規模別

従業者規模別で見ると、「4～9人」が27.2%と最も多く、次いで「0～3人」21.9%、「10～19人」20.0%の順番であった。

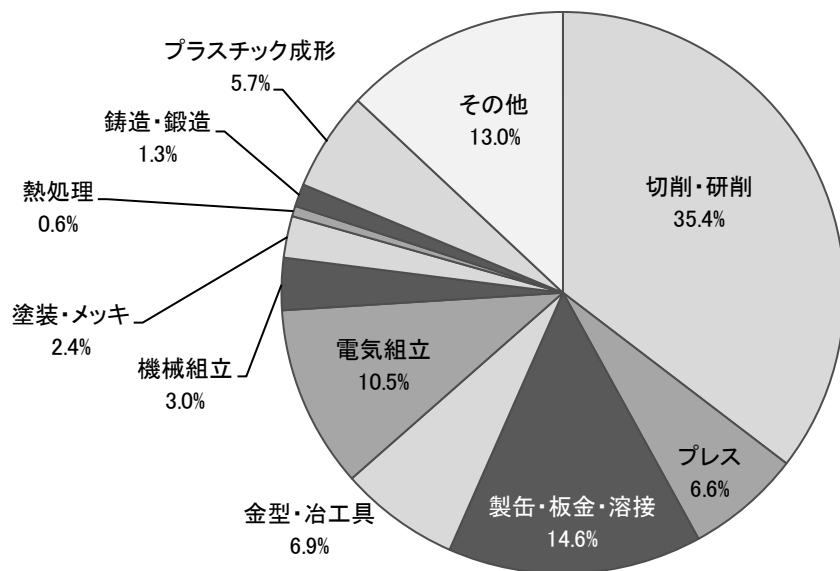


従業員規模集計表

	0～ 3人	4～ 9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 49人	50～ 99人	100～ 300人	300人超	合計
%	21.9%	27.2%	20.0%	11.2%	9.3%	8.1%	2.1%	0.2%	100.0%
企業数(社)	190	236	174	97	81	70	18	2	868

(3) 加工内容別

加工内容別で見ると、「切削・研削」が35.4%と最も多く、次いで「製缶・板金・溶接」14.6%、「電気組立」10.5%の順であった。



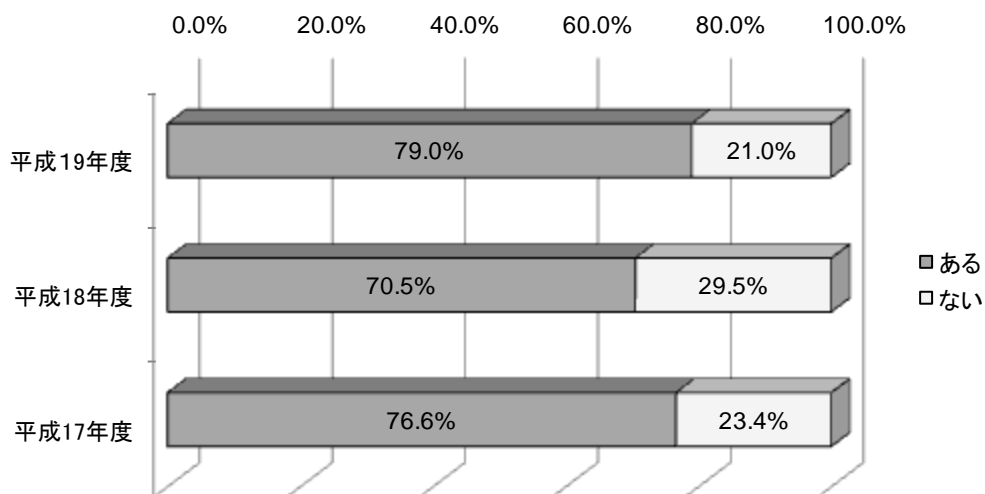
加工別集計表

	切削・研削	プレス	製缶・板金・溶接	金型・治工具	電気組立	機械組立	塗装・メッキ	熱処理	鋳造・鍛造	プラスチック成形	その他	合計
%	35.4%	6.6%	14.6%	6.9%	10.5%	3.0%	2.4%	0.6%	1.3%	5.7%	13.0%	100.0%
企業数(社)	307	57	127	60	91	26	21	5	11	50	113	868

3 調査内容

問1 受注余力

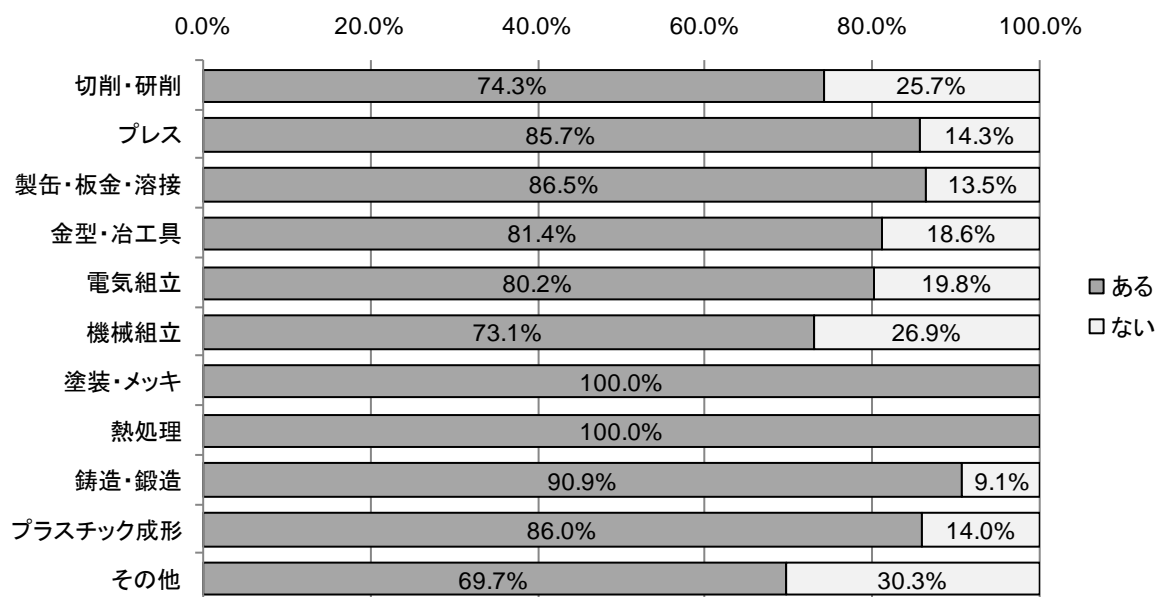
受注余力については、「ある」が79.0%、「ない」が21.0%であった。「ある」との回答が前年対比で8.5%増加するなど、景況の回復がいわれている中であって、中小企業においては、依然として厳しい受注環境にあることがうかがわれる。



受注余力集計表(11企業が無回答)

	ある		ない		合計	
	企業数(社)	(%)	企業数(社)	(%)	企業数(社)	(%)
平成19年度	677	79.0%	180	21.0%	857	100.0%
平成18年度	576	70.5%	241	29.5%	817	100.0%
平成17年度	662	76.6%	202	23.4%	864	100.0%

加工内容別の受注余力については、すべての業種で、「あり」と回答した企業が60%以上であった。

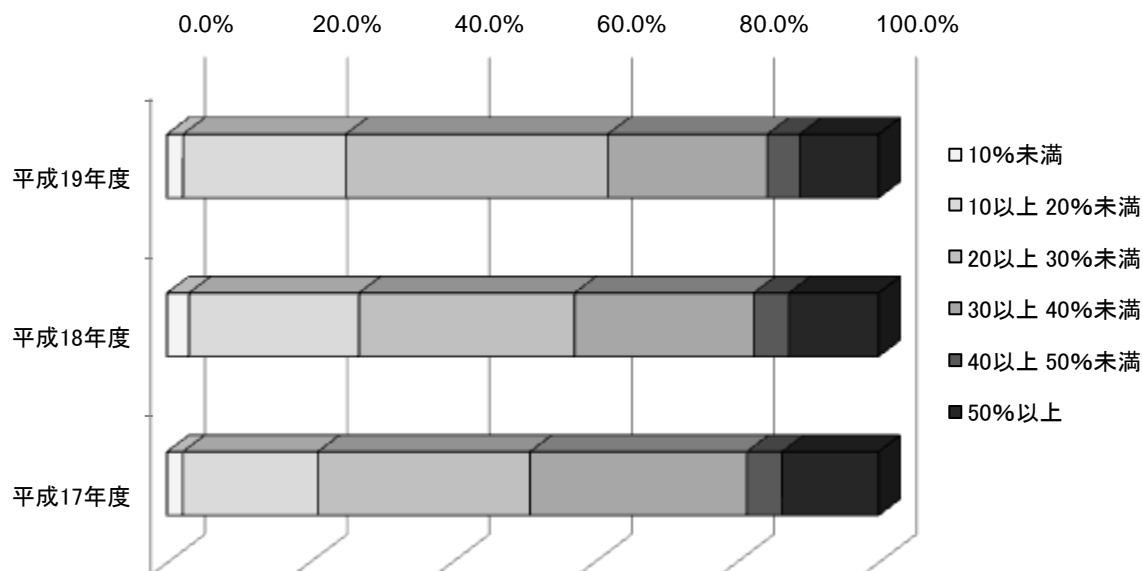


業種別・受注余力集計表(11 企業が無回答)

	ある		ない		合計	
	企業数(社)	(%)	企業数(社)	(%)	企業数(社)	(%)
切削・研削	225	74.3%	78	25.7%	303	100.0%
プレス	48	85.7%	8	14.3%	56	100.0%
製缶・板金・溶接	109	86.5%	17	13.5%	126	100.0%
金型・治工具	48	81.4%	11	18.6%	59	100.0%
電気組立	73	80.2%	18	19.8%	91	100.0%
機械組立	19	73.1%	7	26.9%	26	100.0%
塗装・メッキ	21	100.0%	0	0.0%	21	100.0%
熱処理	5	100.0%	0	0.0%	5	100.0%
鋳造・鍛造	10	90.9%	1	9.1%	11	100.0%
プラスチック成形	43	86.0%	7	14.0%	50	100.0%
その他	76	69.7%	33	30.3%	109	100.0%
合計	677	79.0%	180	21.0%	857	100.0%

【受注余力率】

受注余力率については、受注余力ありと回答した668社中、542社が「10%以上40%未満」という結果であった。また、前年と比較すると「10%以上20%未満」の企業数が減り「20%以上30%未満」の企業が増えている。

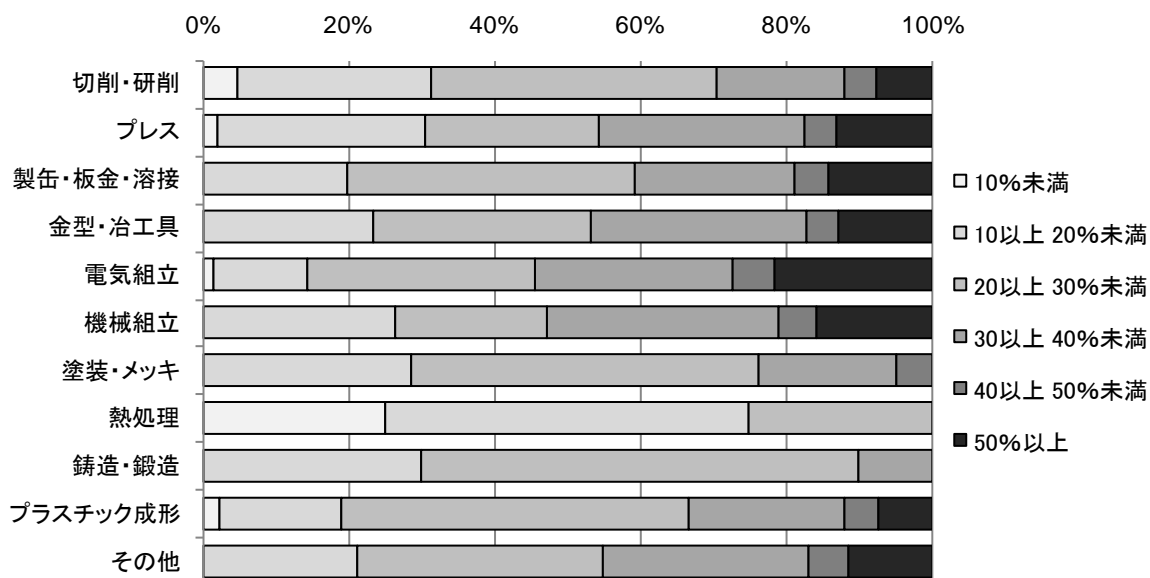


受注余力率集計表 (8企業が無回答)

年度	10%未満	10以上 20%未満	20以上 30%未満	30以上 40%未満	40以上 50%未満	50%以上	合計
平成19年度	15	151	243	148	30	73	660
平成18年度	17	131	166	138	27	69	548
平成17年度	14	119	187	191	31	85	627

【加工別・受注余力率】

業種別の受注余力率については、全加工とも「10%以上40%未満」に集中しており、特に「切削・研削」加工では、224社中186社が受注余力率「10%以上40%未満」と回答している。

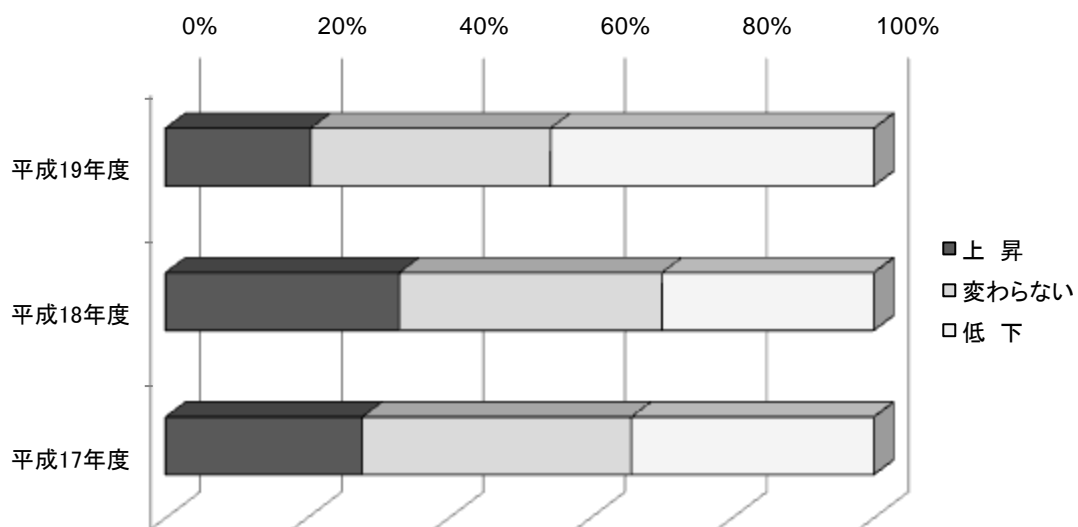


受注余力率集計表 (8企業が無回答)

加工種別	10%未満	10以上 20%未満	20以上 30%未満	30以上 40%未満	40以上 50%未満	50%以上	合計
切削・研削	11	59	88	39	10	17	224
プレス	1	13	11	13	2	6	46
製缶・板金・溶接	0	21	42	23	5	15	106
金型・治工具	0	11	14	14	2	6	47
電気組立	1	9	22	19	4	15	70
機械組立	0	5	4	6	1	3	19
塗装・メッキ	0	6	10	4	1	0	21
熱処理	1	2	1	0	0	0	4
鑄造・鍛造	0	3	6	1	0	0	10
プラスチック成形	1	7	20	9	2	3	42
その他	0	15	24	20	4	8	71
合計	15	151	242	148	31	73	660

問2 受注量

受注量については、「上昇」と回答した企業が20.5%で、前年対比12.5%減少している。また、「低下」と回答した企業は46.1%で前年対比16.3%増加していることから、全体的に受注量が減少していることがわかる。

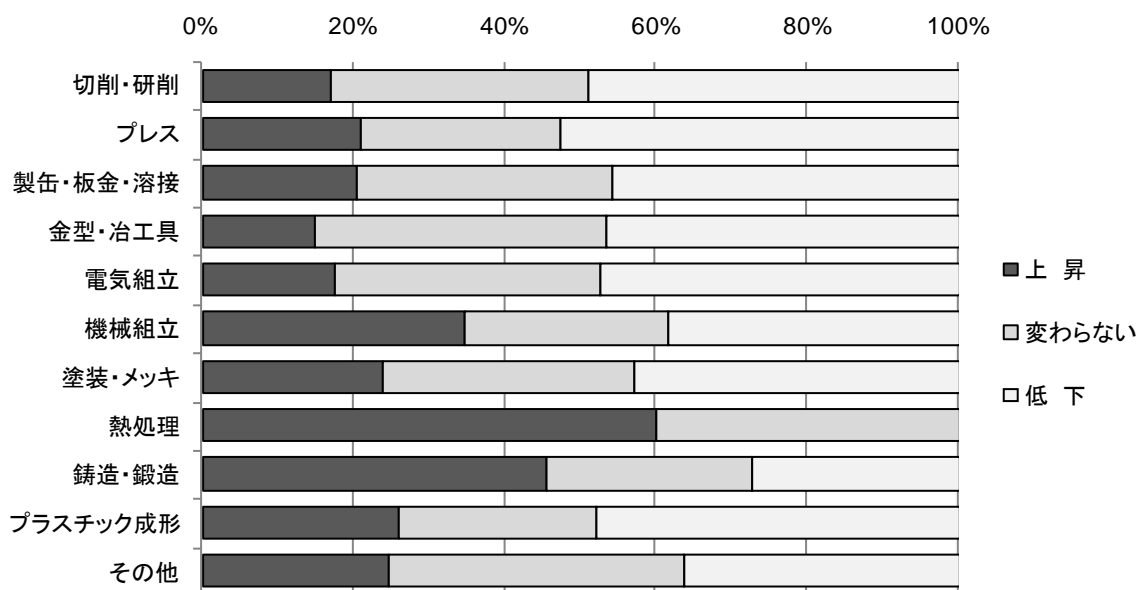


受注量集計表

	上 昇	変わらない	低 下	合 計
平成19年度	178	294	396	868
平成18年度	274	308	248	830
平成17年度	245	335	302	882

【加工別・受注量】

加工別の受注量については、「切削・研削」の企業のうち、「変わらない」「低下」と回答した企業が83%あった。次いで「製缶・板金・溶接」が79.3%と多かった。

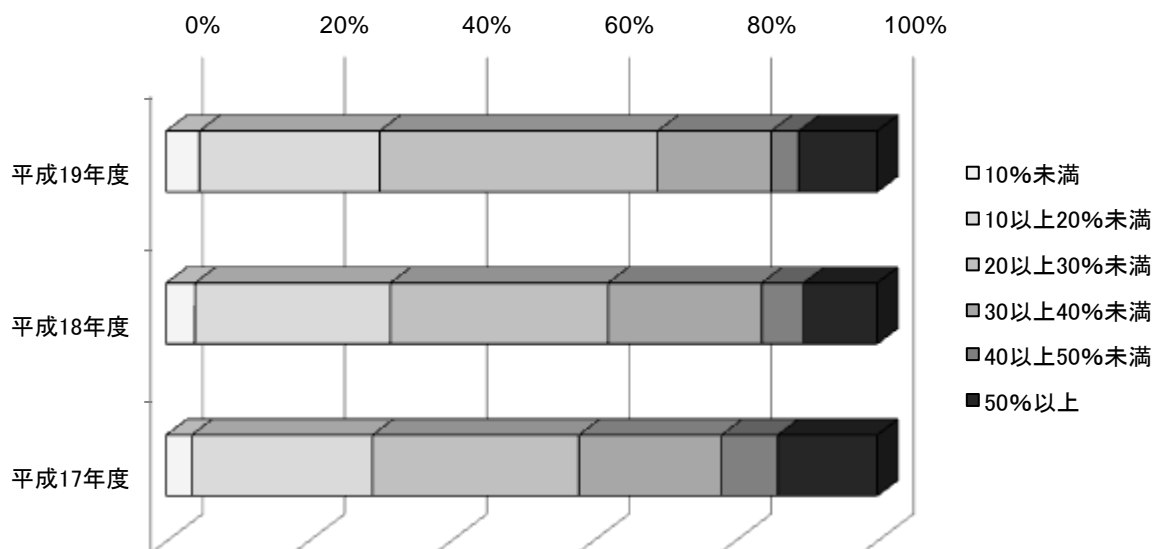


業種別・受注単価集計表

	上 昇	変わらない	低 下	合 計
切削・研削	52	105	150	307
プレス	12	15	30	57
製缶・板金・溶接	26	43	58	127
金型・治工具	9	23	28	60
電気組立	16	32	43	91
機械組立	9	7	10	26
塗装・メッキ	5	7	9	21
熱処理	3	2	0	5
鑄造・鍛造	5	3	3	11
プラスチック成形	13	13	24	50
その他	28	44	41	113
合 計	178	294	396	868

【受注量低下率】

受注量低下率については、低下と回答した396企業の低下率を見ると、「20%以上30%未満」が142社と最も多くなっており、平成18年度の約2倍となっている。

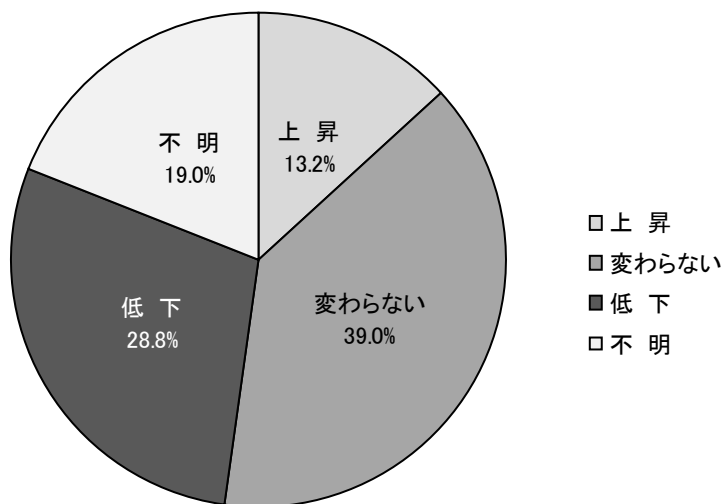


受注量低下率集計表 (33 企業が無回答)

年度	10%未満	10以上20%未満	20以上30%未満	30以上40%未満	40以上50%未満	50%以上	合計
平成19年度	17	92	142	58	14	40	363
平成18年度	9	61	68	48	13	23	548
平成17年度	10	71	81	56	22	39	627

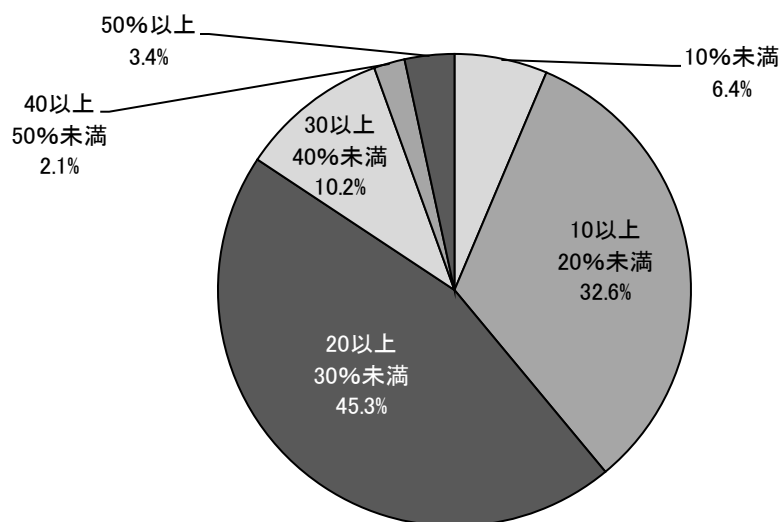
問3 今後(3ヶ月後)の受注量の見通し

今後(3ヶ月)の受注量の見通しについては、「変わらない」と回答した企業が39.0%と最も多くなっている。また、受注量が低下と回答した248社の低下率を見ると、そのうち131社が「10%以上30%未満」という回答であった。



受注量見通し集計表(6企業が無回答)

	上昇	変わらない	低下	不明	合計
%	13.2%	39.0%	28.8%	19.0%	100.0%
企業数(社)	114	336	248	164	862

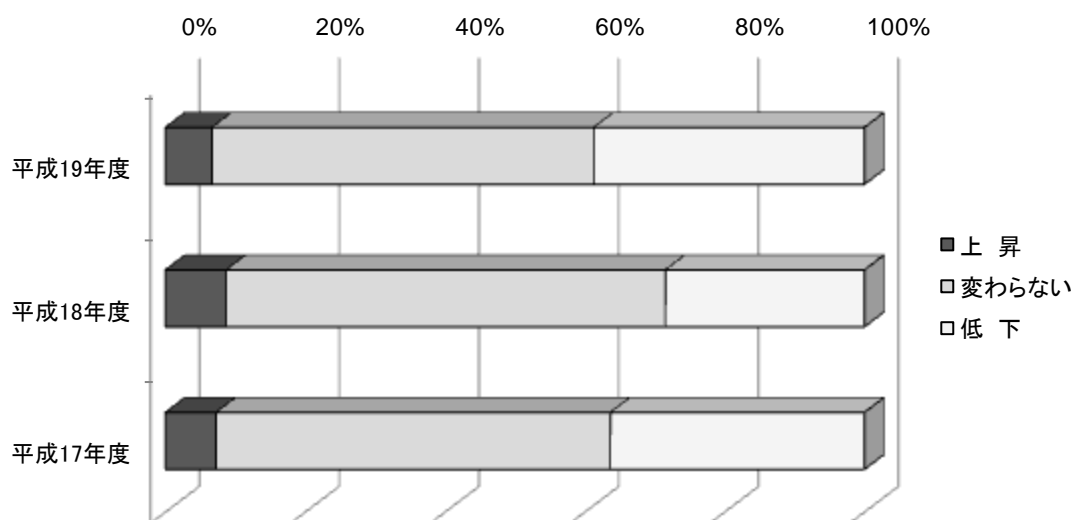


受注量見通し低下率(12企業が無回答)

	10%未満	10以上20%未満	20以上30%未満	30以上40%未満	40以上50%未満	50%以上	合計
%	6.4%	32.6%	45.3%	10.2%	2.1%	3.4%	100.0%
企業数(社)	15	77	107	24	5	8	236

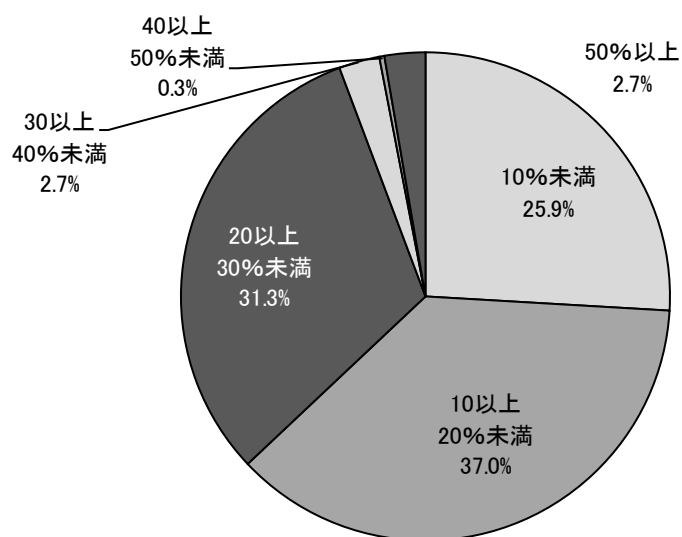
問4 受注単価

受注単価については、「変わらない」と回答した企業が54.6%と過半数を占めた。また、「下がった」と回答した336社の低下率を見ると、「10%以上20%未満」が43.8%と最も多くなっている。



受注集計表

	上昇	変わらない	低下	合計
平成19年度	58	474	336	868
平成18年度	72	519	235	826
平成17年度	60	466	300	826

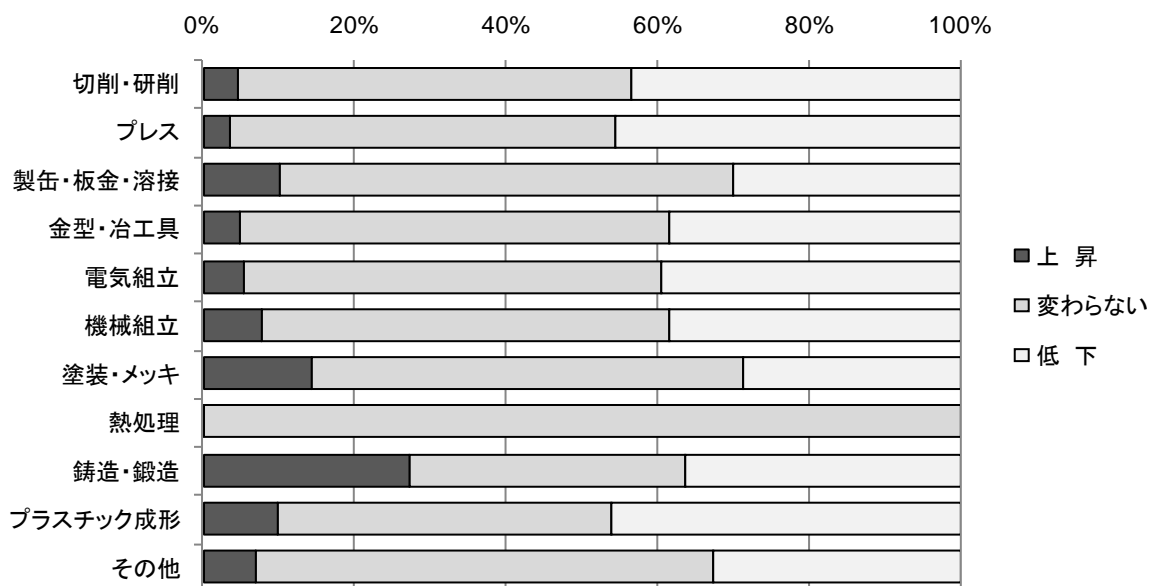


受注単価低下率集計表(39企業が無回答)

	10%未満	10以上20%未満	20以上30%未満	30以上40%未満	40以上50%未満	50%以上	合計
%	25.9%	37.0%	31.3%	2.7%	0.3%	2.7%	100.0%
企業数(社)	77	110	93	8	1	8	297

【加工別・受注単価】

業種別の受注単価については、鋳造・鍛造を除いた加工内容の企業で80%以上の企業が「変わらない」か「下がった」という回答であった。

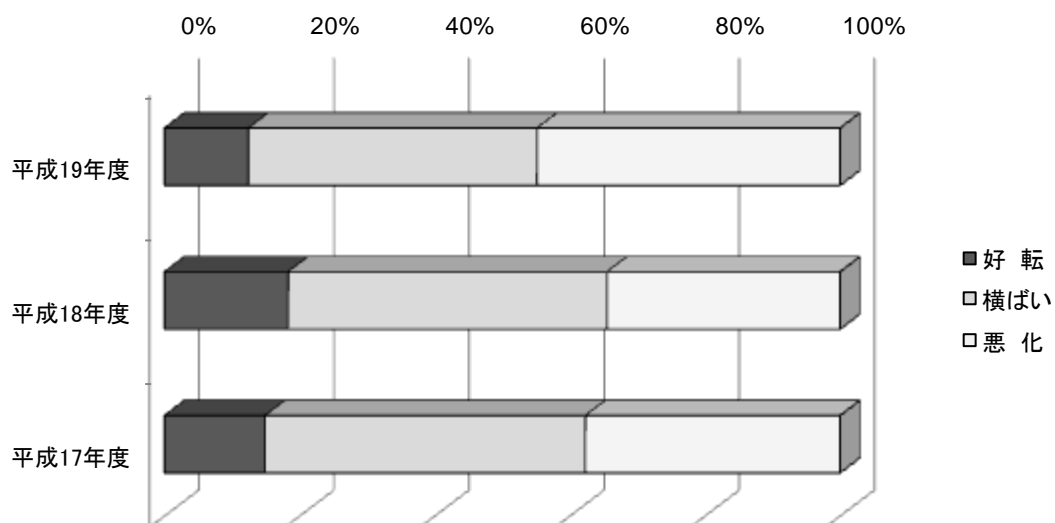


受注余力率集計表

	上 昇	変わらない	低 下	合 計
切削・研削	14	160	133	307
プレス	2	29	26	57
製缶・板金・溶接	13	76	38	127
金型・治工具	3	34	23	60
電気組立	5	50	36	91
機械組立	2	14	10	26
塗装・メッキ	3	12	6	21
熱処理	0	5	0	5
鋳造・鍛造	3	4	4	11
プラスチック成形	5	22	23	50
その他	8	68	37	113
合 計	58	474	336	868

問5 採算状況

採算状況については、前年と比較し、「好転した」と回答した企業が44社減っており、「横ばい」「悪化」と回答した企業が87.6%を占めている。

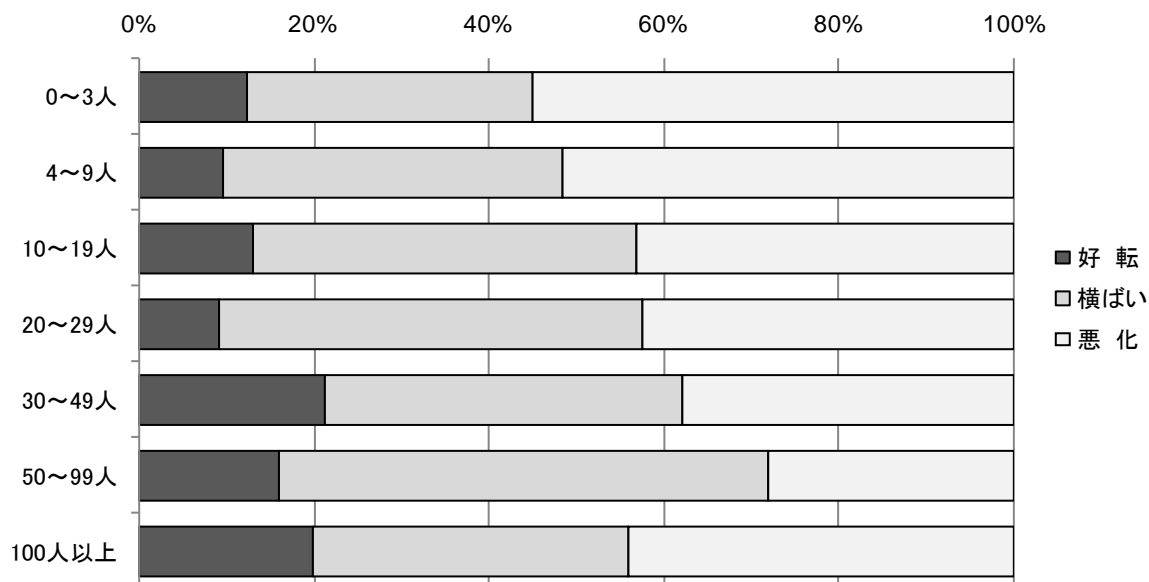


採算状況集計表 (7 企業が無回答)

	好 転	横ばい	悪 化	合 計
平成19年度	107	368	386	861
平成18年度	151	389	284	824
平成17年度	123	391	311	825

【従業員規模別・採算状況】

従業者規模別の採算状況については、すべての従業員規模で「横ばい」が最も多くなっている。また、100人以上を除いた従業員規模で、「悪化」が「好転」を上回っている。

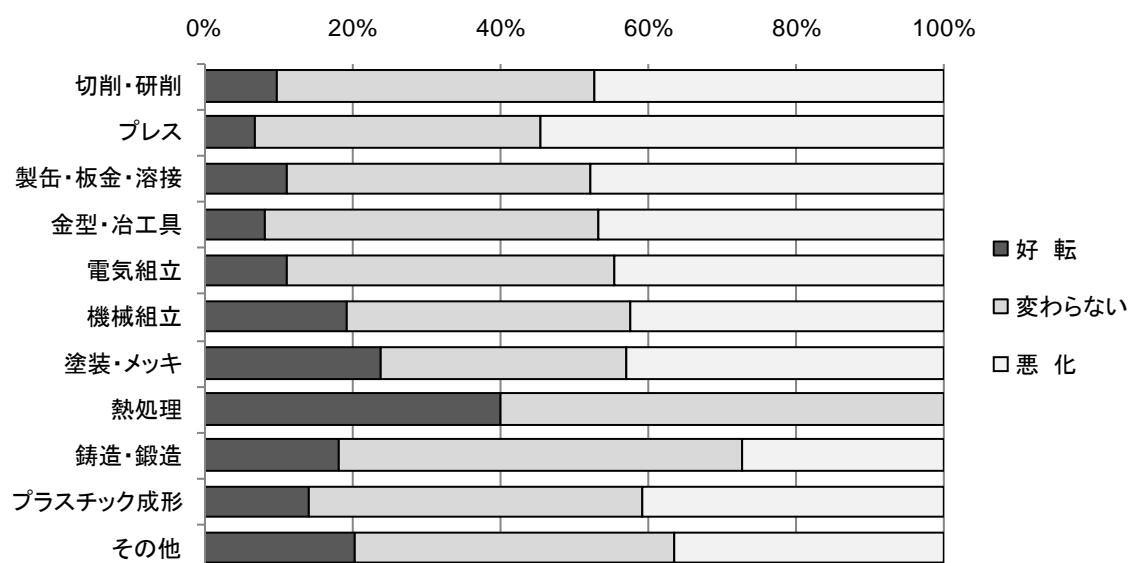


従業員規模別・採算状況集計表 (22 企業が無回答)

	好 転	横ばい	悪 化	合 計
0~3 人	23	61	102	186
4~9 人	23	91	121	235
10~19 人	23	76	75	174
20~29 人	9	47	41	97
30~49 人	13	25	23	61
50~99 人	11	38	19	68
100 人以上	5	9	11	25
合 計	107	347	392	846

【業種別・採算状況】

業種別の採算状況については、熱処理を除いたすべての業種で「変わらない」と「悪化」が70%を占めている。

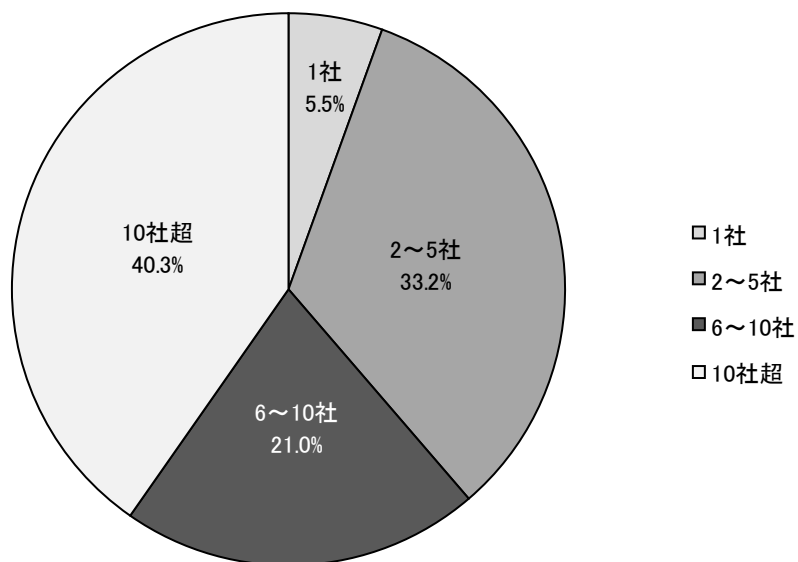


業種別・採算状況集計表 (7 企業が無回答)

	好 転	変わらない	悪 化	合 計
切削・研削	30	130	143	303
プレス	4	22	31	57
製缶・板金・溶接	14	52	60	126
金型・治工具	5	27	28	60
電気組立	10	40	40	90
機械組立	5	10	11	26
塗装・メッキ	5	7	9	21
熱処理	2	3	0	5
鑄造・鍛造	2	6	3	11
プラスチック成形	7	22	20	49
その他	23	49	41	113
合 計	107	368	386	861

問6 現在の取引先数

現在の取引先数については、「10社超」が40.3%と最も多くなっている。回答結果は、前年調査とほぼ同様であった。

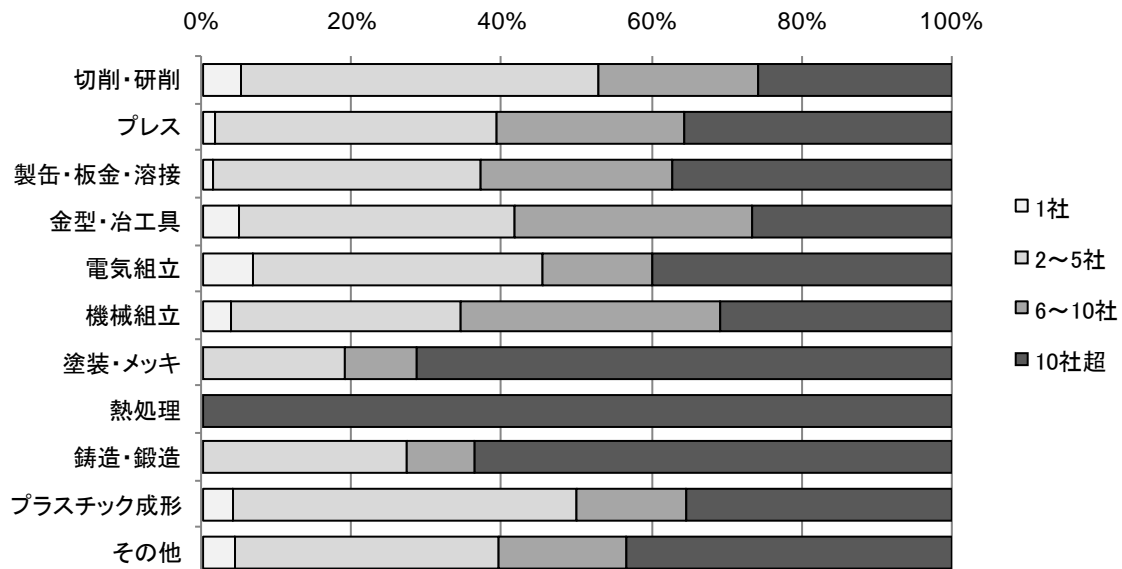


現在の取引先数集計表 (12 企業が無回答)

	1 社	2~5 社	6~10 社	10 社超	合 計
%	5.5%	33.2%	21.0%	40.3%	100.0%
企業数(社)	36	343	180	297	856

【加工別・取引先数】

加工別の取引先数については、全加工において「6社以上」が50%を上回った。特に、製缶・板金・溶接加工では「10社超」が41.6%であった。

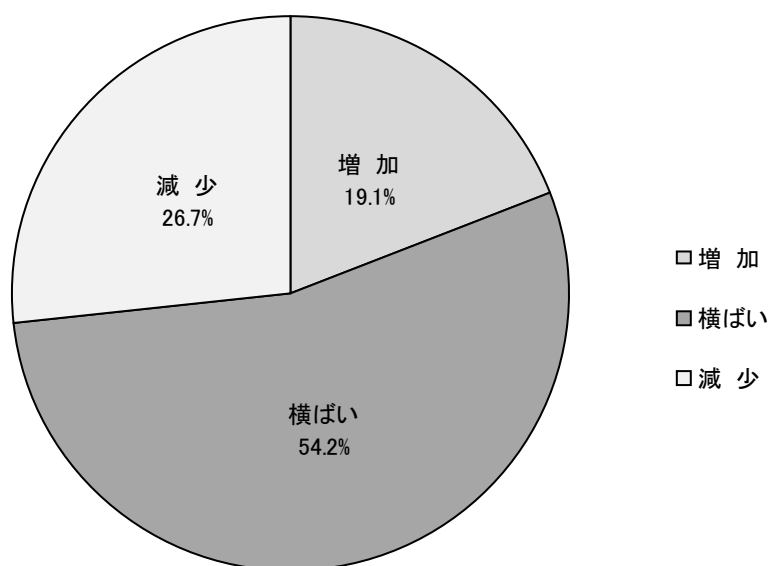


業種別取引先数集計表(12企業が無回答)

	1社	2~5社	6~10社	10社超	合計
切削・研削	16	144	64	78	302
プレス	1	21	14	20	56
製缶・板金・溶接	2	45	32	47	126
金型・治工具	3	22	19	16	60
電気組立	6	35	13	36	90
機械組立	1	8	9	8	26
塗装・メッキ	0	4	2	15	21
熱処理	0	0	0	5	5
鑄造・鍛造	0	3	1	7	11
プラスチック成形	2	22	7	17	48
その他	5	39	19	48	111
合計	36	343	180	297	856

問7 取引先数の増減

取引先数の増減については、「変わらない」が過半数以上の54.2%と最も多くなっており、前年調査とほぼ同様であった。

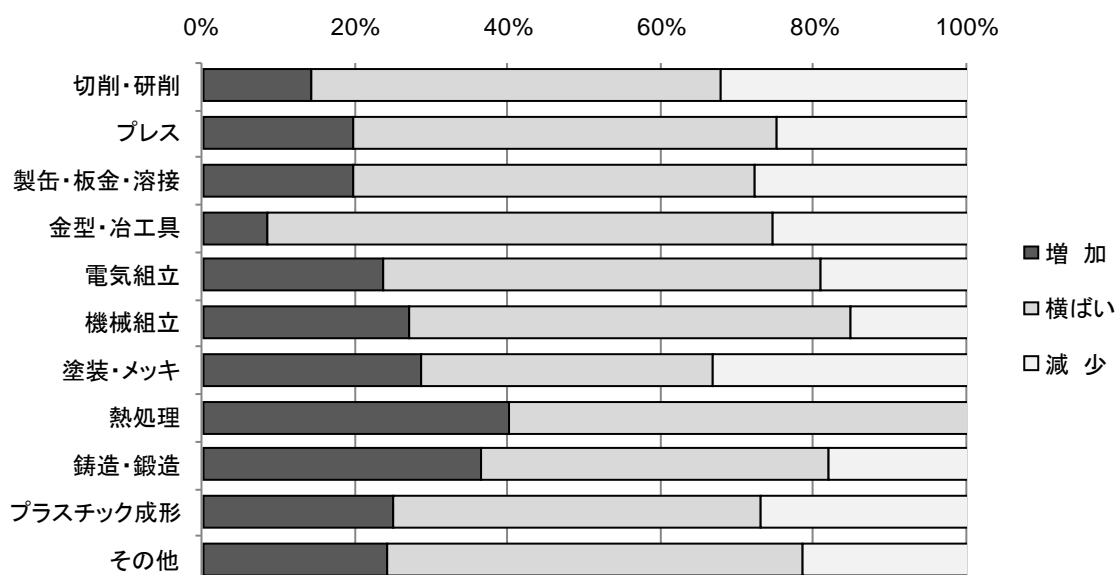


取引先数の増減集計表(14企業が無回答)

	増加	横ばい	減少	合計
%	19.1%	54.2%	26.7%	100.0%
企業数(社)	163	463	228	854

【業種別・取引先数の増減】

業種別の取引先数増減については、「鑄造・鍛造」、「プラスチック成形」を除き半数以上の企業が「変わらない」という回答であった。また、「電気組立」加工は、「増加」が「減少」を上回っている。

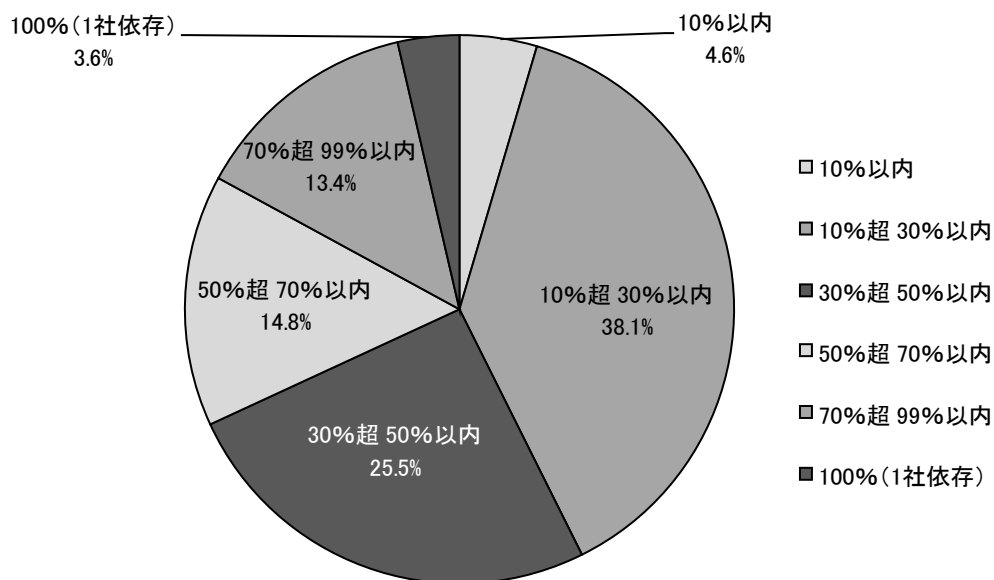


業種別・取引先数集計表 (14 企業が無回答)

	増 加	横ばい	減 少	合 計
切削・研削	43	161	97	301
プレス	11	31	14	56
製缶・板金・溶接	25	66	35	126
金型・治工具	5	39	15	59
電気組立	21	51	17	89
機械組立	7	15	4	26
塗装・メッキ	6	8	7	21
熱処理	2	3	0	5
鑄造・鍛造	4	5	2	11
プラスチック成形	12	23	13	48
その他	27	61	24	112
合 計	163	463	228	854

問8 メイン取引先への依存度

メイン取引先への依存度については、前年は「30%超50%以内」が30.6%と最も多かったが、本年は、「10%超30%以内」が38.1%が最も多くなっている。

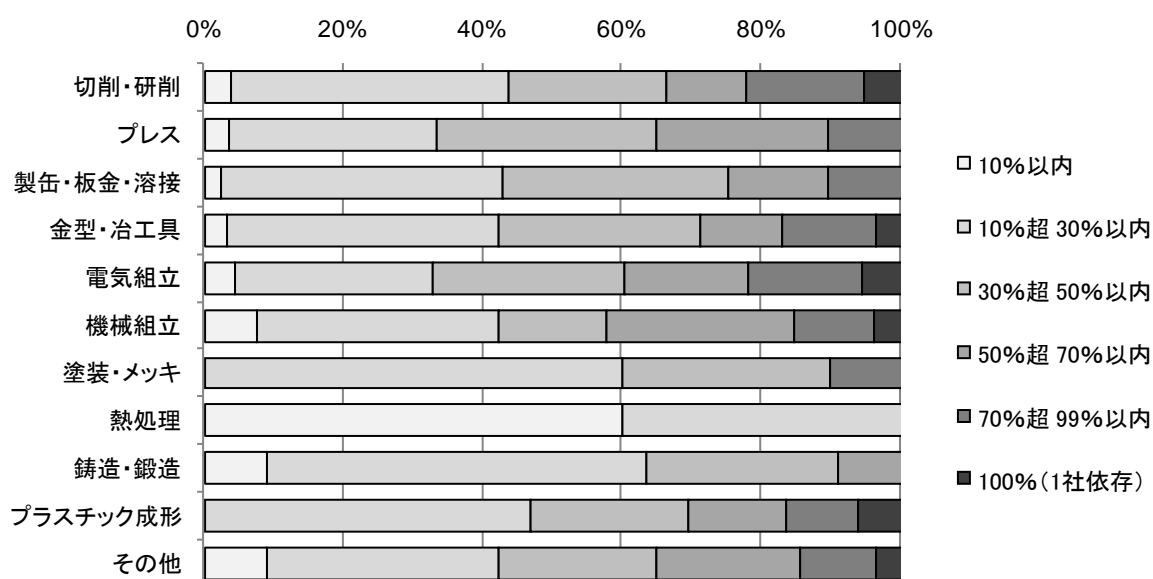


依存度集計表(12 企業が無回答)

	10%以内	10%超 30%以内	30%超 50%以内	50%超 70%以内	70%超 99%以内	100% (1社依存)	合計
%	4.6%	38.1%	25.5%	14.8%	13.4%	3.6%	100.0%
企業数(社)	39	326	218	127	115	31	856

【業種別・取引先への依存度】

業種別の取引先への依存度については、全業種とも「10%超50%以内」に集中しており、特にサービス業の「30%超50%以内」という回答が43.8%と最も多くなっている。

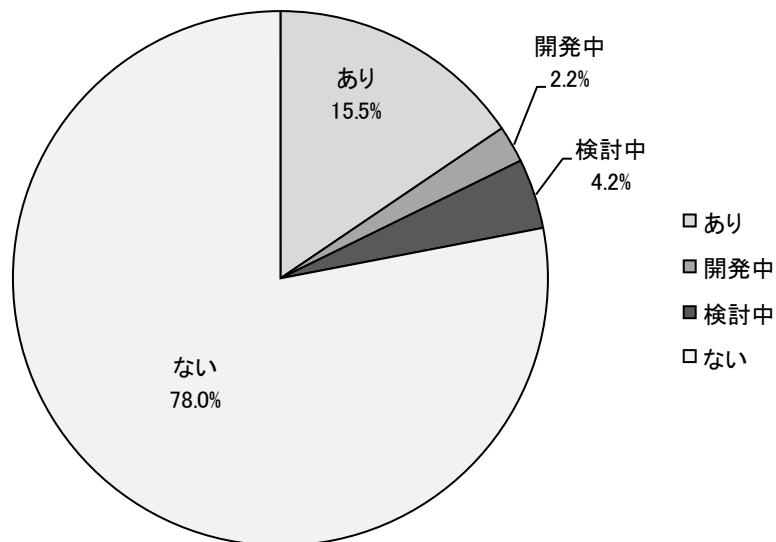


依存度集計表 (12 企業が無回答)

	10%以内	10%超 30%以内	30%超 50%以内	50%超 70%以内	70%超 99%以内	100% (1社依存)	合計
切削・研削	12	120	68	34	51	16	301
プレス	2	17	18	14	6	0	57
製缶・板金・溶接	3	51	41	18	13	0	126
金型・治工具	2	23	17	7	8	2	59
電気組立	4	26	25	16	15	5	91
機械組立	2	9	4	7	3	1	26
塗装・メッキ	0	12	6	0	2	0	20
熱処理	3	2	0	0	0	0	5
鋳造・鍛造	1	6	3	1	0	0	11
プラスチック成形	0	23	11	7	5	3	49
その他	10	37	25	23	12	4	111
合計	39	326	218	127	115	31	856

問9 自社製品

自社製品の保有状況については、「あり」が15.5%であった。また、「現在開発中」「検討中」と回答した企業は、全体の6.4%であった。

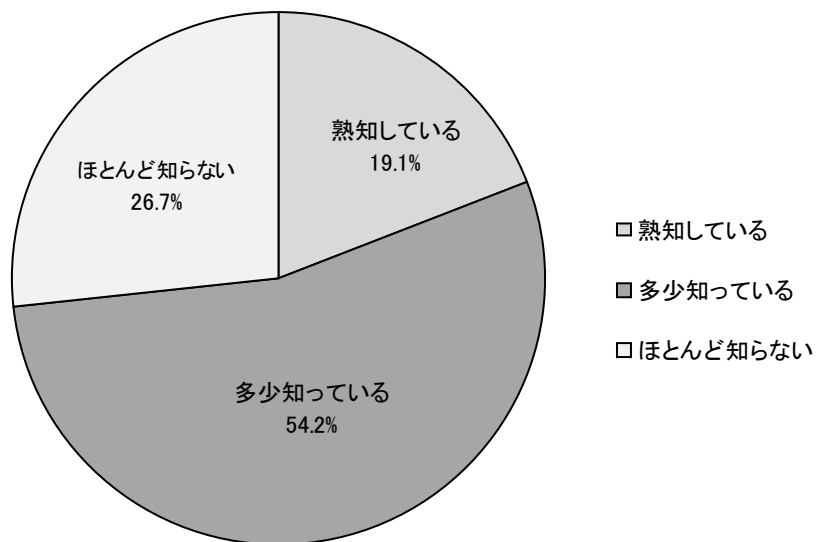


自社製品保有企業集計表 (17 企業が無回答)

	あり	開発中	検討中	ない	合計
%	15.5%	2.2%	4.2%	78.0%	100.0%
企業数(社)	132	19	36	664	851

問 10 「下請法」の認知度について

下請法の認知度は「認知している」が11.7%と「多少知っている」が57.6%であり過半数以上の企業が、多少知っているか、認知している。

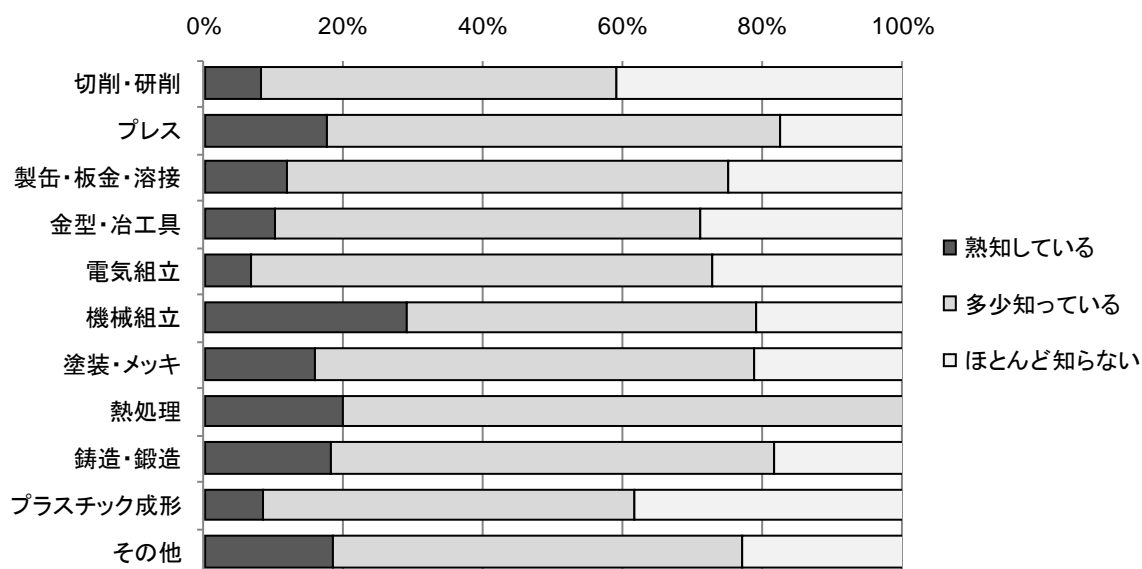


「下請法」の認知度 (22 企業が無回答)

	熟知している	多少知っている	ほとんど知らない	合計
%	19.1%	54.2%	26.7%	100.0%
企業数(社)	99	487	260	846

【加工別 下請法の認知度】

切削・研削加工、プラスチック成形加工の企業では、「ほとんど知らない」と回答した企業が35%を超えている。プレス加工、熱処理加工、鍛造・鋳造加工の企業では、「ほとんど知らない」と回答した企業が20%以下である。

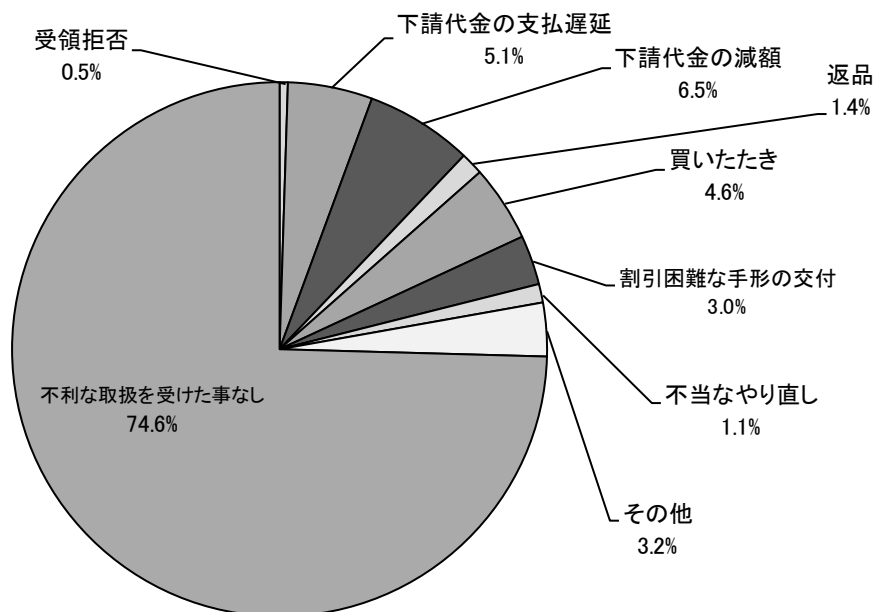


業種別「下請法」認知度集計表 (14 企業が無回答)

	熟知している	多少知っている	ほとんど知らない	合計
切削・研削	43	161	97	301
プレス	11	31	14	56
製缶・板金・溶接	25	66	35	126
金型・治工具	5	39	15	59
電気組立	21	51	17	89
機械組立	7	15	4	26
塗装・メッキ	6	8	7	21
熱処理	2	3	0	5
鋳造・鍛造	4	5	2	11
プラスチック成形	12	23	13	48
その他	27	61	24	112
合計	163	463	228	854

問 11 これまでの下請取引において受けた不利な取り扱い

「不利な取り扱いを受けたことがない」企業が74.6%を占めている。

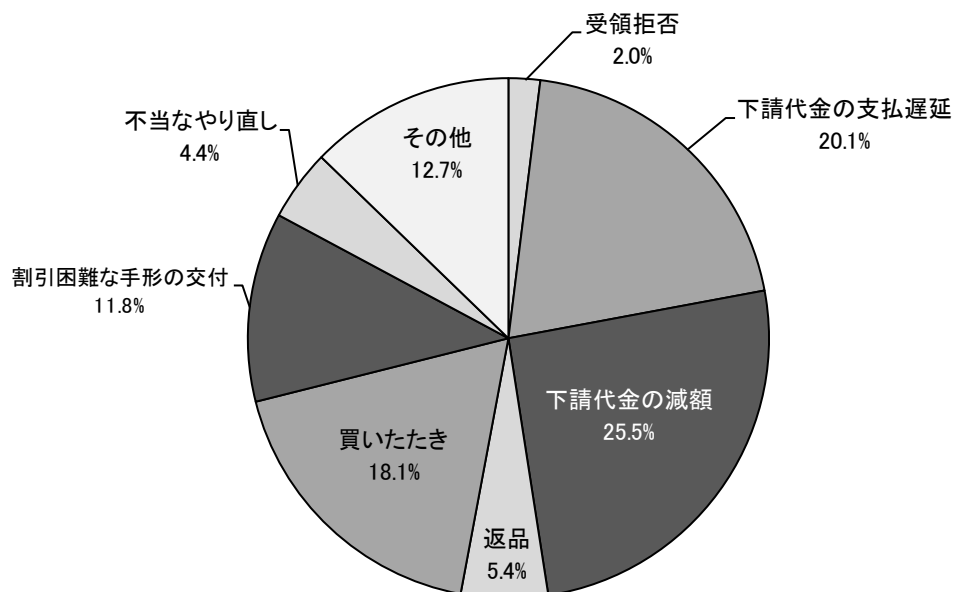


下請取引において受けた不利な取り扱い(66企業が無回答)

	受領拒否	下請代金の支払遅延	下請代金の減額	返品	買ったたき	割引困難な手形の交付	不当なやり直し	その他	小計	不利な取扱を受けた事なし	合計
%	0.5%	5.1%	6.5%	1.4%	4.6%	3.0%	1.1%	3.2%	25.4%	74.6%	100.0%
企業数(社)	4	41	52	11	37	24	9	26	204	598	802

【下請取引において受けた不利な取り扱い】

これまでに受けた不利な取り扱いの項目の中では、「下請代金の減額」が25.5%と一番多く、次いで「支払代金の支払遅延」が多い。



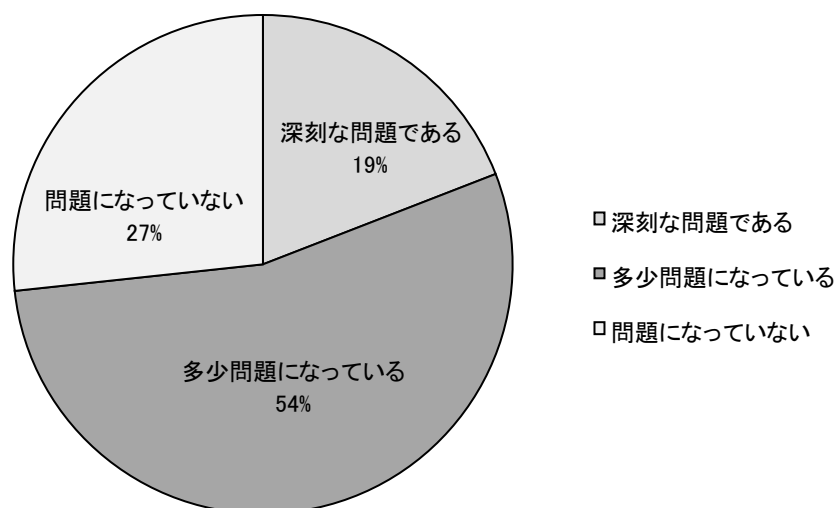
	受領拒否	下請代金の支払遅延	下請代金の減額	返品	買ったたき	割引困難な手形の交付	不当なやり直し	その他	合計
%	2.0%	20.1%	25.5%	5.4%	18.1%	11.8%	4.4%	12.7%	100.0%
企業数(社)	4	41	52	11	37	24	9	26	204

※「その他」の回答の内訳

- ・不当な値引き……………6社
- ・相手先破産…………… 4社
- ・支払いの延期…………… 3社
- ・コストダウン要請……………3社
- ・強引な値下げを受けた……………3社
- ・突然の取引中止通告……………2社
- ・支払拒否……………1社
- ・仕事を勝手に引き上げられた……………1社
- ・不良品の弁償……………1社
- ・売上に対する協力金を要請された…1社
- ・追加工事代金がもらえなかった……………1社

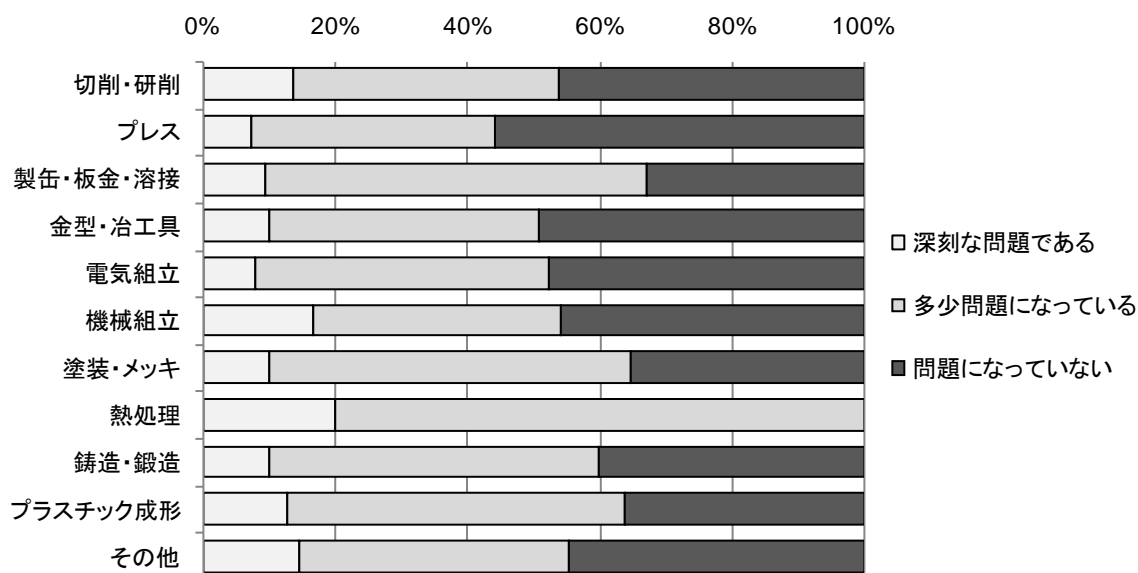
問 12 「団塊世代」の大量退職に伴う人手不足は深刻な問題か

「深刻な問題である」「多少問題になっている」と回答した企業がプレス加工以外の加工業において50%以上を占めている。合計でも「深刻な問題である」「多少問題になっている」と回答した企業が70%を超えている。



人手不足問題の影響 (27 企業が無回答)

	深刻な問題である	多少問題になっている	問題になっていない	合計
%	19.1%	54.2%	26.7%	100.0%
企業数(社)	100	373	368	841

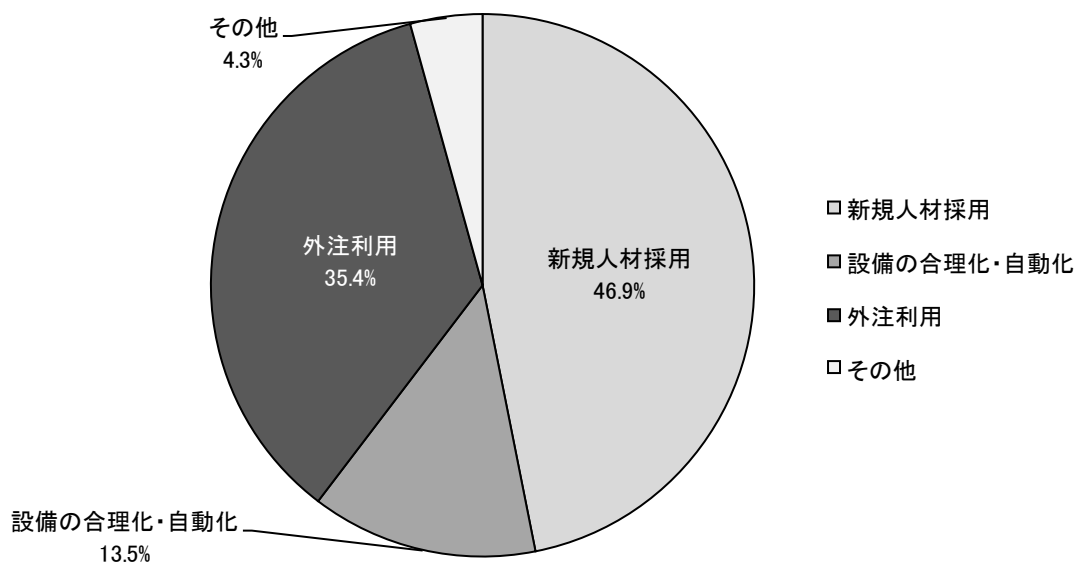


業種別・人手不足問題の影響 (27 企業が無回答)

	深刻な問題である	多少問題になっている	問題になっていない	合計
切削・研削	41	121	139	301
プレス	4	20	30	54
製缶・板金・溶接	12	72	41	125
金型・治工具	6	24	29	59
電気組立	7	38	41	86
機械組立	4	9	11	24
塗装・メッキ	2	11	7	20
熱処理	1	4	0	5
鑄造・鍛造	1	5	4	10
プラスチック成形	6	24	17	47
その他	16	45	49	110
合計	100	373	368	841

問 13 人手不足を補うためにどのような対策を講じているか。

回答した企業の46.9%が人手不足を補うための対策として「新規人材採用」と回答している。

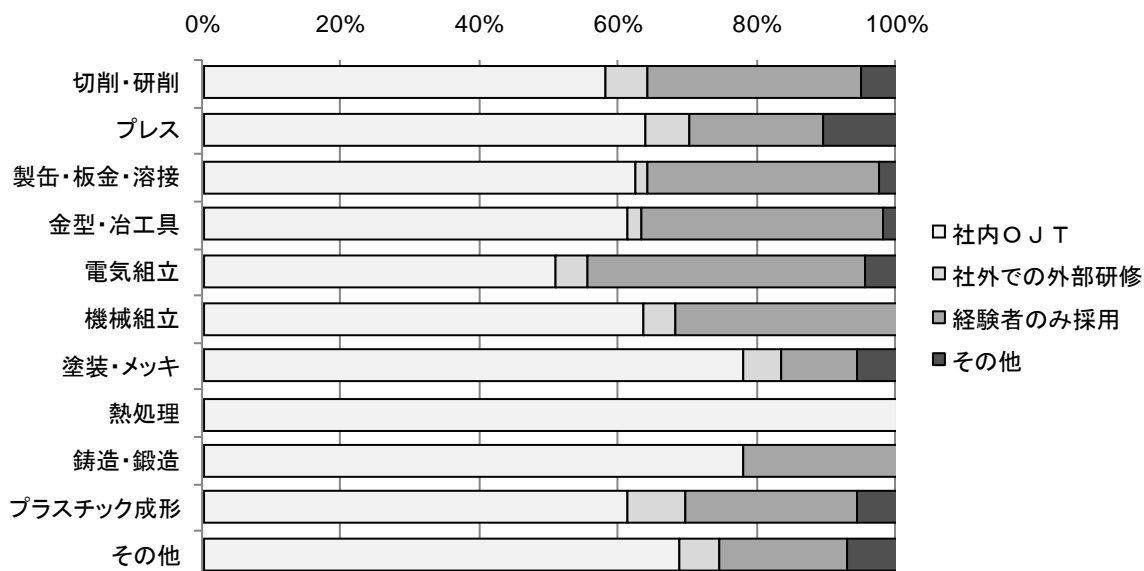


(356 企業が無回答)

	新規人材採用	設備の合理化・自動化	外注利用	その他	合計
%	46.9%	13.5%	35.4%	4.3%	100.0%
企業数(社)	240	69	181	22	512

問 14 人材を新規採用した際、技術習得等の人材育成における教育をどのように行っているか。

全加工とも「社内OJT」とする回答が一番多く50%以上である。「経験者のみ採用」と回答した企業も、「切削・研削」「製缶・板金・溶接」「金型・治工具」「電気組立」「機械組立」では、30%を超えている。



(217 企業が無回答)

	社内OJT	社外での外部研修	経験者のみ採用	その他	合計
切削・研削	116	12	62	10	200
プレス	30	3	9	5	47
製缶・板金・溶接	71	2	38	3	114
金型・治工具	30	1	17	1	49
電気組立	33	3	26	3	65
機械組立	14	1	7	0	22
塗装・メッキ	14	1	2	1	18
熱処理	5	0	0	0	5
鑄造・鍛造	7	0	2	0	9
プラスチック成形	22	3	9	2	36
その他	59	5	16	6	86
合計	401	31	188	31	651